

科学研究費助成事業（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	24220004	研究期間	平成 24 年度～平成 28 年度
研究課題名	複合現実型情報空間の表現力基盤強化と体系化	研究代表者 (所属・職) (平成27年3月現在)	田村 秀行（立命館大学・総合科学技術研究機構・教授）

【平成 27 年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準
A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○ A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
A-	当初目標に向けて概ね順調に研究が進展しており、一定の成果が見込まれるが、一部に遅れ等が認められるため、今後努力が必要である
B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
<p>(意見等)</p> <p>これまでの研究の進捗は概ね順調であり、実利用を想定した研究の進展が確認できる。視聴感の高臨場感体験という挑戦的研究であるが、研究計画は妥当であり、達成目標をより明確化し、着実に実行することで、当初の目標は達成可能と考えられる。今後は、当該分野における主要な国際会議や英語学術論文誌での研究発表を組織的に強化するとともに、実応用を実感できる「体験デモ」展示に注力することにより、国際的なプレゼンスを高めることを期待する。</p>	